

総合資源エネルギー調査会 基本政策分科会

電力需給検証小委員会 第12回会合

資料3

今回の電力需給検証の進め方について

1. 電力需給検証の体制図

- 震災後の電力需給の逼迫を踏まえ、政府として電力需給対応に万全を期す体制を新たに構築。
- 震災直後は、東京電力管内の計画停電の実施の検討・実施が中心であったが、その後、原発の停止に伴う供給力の減少を背景に、全国を対象に、電力需給の高まる夏と冬の対応を検討。

電力需給に関する検討会合
(平成23年3月13日内閣総理大臣決裁)

座長 : 官房長官
座長代行 : 経済産業大臣
構成員 : 総理を除く全閣僚

＝ 電力需給対策
を決定

総合資源エネルギー調査会基本政策分科会
電力需給検証小委員会

小委員長 : 柏木 孝夫(東京工業大学 特命教授)
委員 : 秋元 圭吾((公財)地球環境産業技術研究機構 システム研究グループリーダー)
市川 晶久(日本商工会議所 政策第二部 副部長)
植田 和弘(京都大学大学院経済学研究科 教授)
大山 力(横浜国立大学大学院工学研究院 教授)
鯉沼 晃((一社)日本経済団体連合会 資源・エネルギー対策委員会企画部会長)
辰巳 菊子((公社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会常任顧問)
中上 英俊((株)住環境計画研究所 代表取締役会長)
松村 敏弘(東京大学社会科学研究所 教授)

＝ 電力需給見通し
の策定・検証(事
後検証を含む)

(スケジュール案)
10月9日(金)第12回
・今夏の振り返り
・今冬の見通し

10月20日(火)第13回
・報告書(案)

2. 検討項目について

2015年度夏季 需給実績の検証

- 2015年度夏季需給実績の報告
 - －需要面(節電対策など)
 - －供給面(トラブル状況など)
- 2015年度夏季取組の実態把握
 - －電力会社からのヒアリング
＜関西電力、九州電力＞

第12回
10/9
(金)

○2015年度夏季需給検証のまとめ

第13回
10/20
(火)

報告案の検討・取りまとめ

政府で「2015年度冬季需給対策」を決定

2015年度冬季 需給見通しの検証

- 2015年度冬季需給見通しの整理・検証
 - －需要面(節電見込みなど)
 - －供給面(定期検査の調整など)
- 2015年度冬季需給に関する実態把握
 - －電力会社からのヒアリング
＜北海道電力＞
- 2015年度冬季需給に関する実態把握
 - －需要家等からのヒアリング
＜北海道庁、北海道大口需要家協議会、日本フランチャイズチェーンストア協会＞

○2015年度冬季需給見通しのまとめ

2. 電力需給の検証に関する主要論点の例

【2015年度夏季の需給の検証】

供給面	<ul style="list-style-type: none"> ○供給力は、想定したものと比べてどうであったか。 ○火力は、どの程度の供給力であったか。供給に重大な影響を与える計画外停止等の状況はどうか。 ○水力や再生可能エネルギーによる供給力はどうか。過大又は過小の見通しとなっていなかったか。 ○再エネの供給力見通しについて、新たな想定方法を検討してはどうか。 ○供給面でどのような取り組みがなされたか。
需要面	<ul style="list-style-type: none"> ○2015年度夏季の需要は、定着節電の目安と比べてどの程度減少(2010年度比)したか。 ○需要減少は分野によってばらつきはあるか。需要減少となった主な要因は何か。 ○今回の節電要請は、社会経済活動にどのような影響を及ぼしたか。 ○いわゆる定着節電がどの程度進んだか。 ○需要対策としてどのような取り組みがなされたか。

【2015年度冬季の需給見通し】

供給面	<ul style="list-style-type: none"> ○火力の定期検査、計画外停止等による影響はどの程度か。 ○長期停止・被災火力の再稼働、緊急設置電源等による出力増、自家発からの購入増、再生可能エネルギーの更なる供給等による供給力の増加は見込めるか。 ○電力融通の見込みはどうか。 ○大規模の電源脱落リスクについてどのように考えるか。
需要面	<ul style="list-style-type: none"> ○2015年度冬季の経済見通し、気温影響の見込みはどうか。 ○いわゆる定着節電をどの程度見込むのか。 ○需給調整契約など需要サイドの対策の見込みはどうか。さらなる工夫の余地はないか。